

エコニュース さって



第 8 3 号
令和 2 年 7 月 22 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

「エコライフDAY2019」の取組結果

幸手市環境課

幸手市のエコライフDAY2019の取組結果を報告します。

実施日：7月3日（水）～10日（水）

※小学生・中学生・高校生その家族及び教職員は、令和元年7月7日（日）に実施。

エコライフDAYは、家庭からの二酸化炭素排出量削減を目指して、省エネ・省資源の生活を1日体験する取組です。

▼参加者数・二酸化炭素削減量

今回の参加者数は6,735人、二酸化炭素削減量は約5,771,613gとなりました。昨年と比較して参加者数は690人、1人当たりの削減量は約77gの増加となりました。



▼項目ごとの取組状況

項目別の実施率、上位3項目を見てみると「市町村のごみ出しルールにしたがって分けた。(96.2%)」、「部屋を出るときは、明かりを消した(93.8%)」、「お湯や水を流しっぱなしにしないで、こまめにとめた。(89.7%)」となりました。

また、項目別の実施率下位3項目は「テレビなど家電製品を使わないときは、主電源を切ったりコンセントからプラグを抜いた。(38.8%)」、「出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。(31.9%)」、「お風呂の残り湯を洗濯に使った(31.5%)」となりました。



▼地球温暖化防止には

一人ひとりの認識及び行動が重要です。

地球の未来のため、少しでも温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出を抑える生活を心がけるようお願いします。

▼みんなでエコライフを

家庭では、さまざまなエネルギーが消費されます。中でも二酸化炭素が多く排出されるのは電気です。経済産業省では、エアコンやテレビなど省エネ家電の選び方や効果的な使い方を紹介しています。色々な情報を参考に、今後も家庭におけるエコライフスタイルの推進に御協力をお願いします。

※「エコライフDAY」の取組結果は、市ホームページ(<http://www.city.satte.lg.jp>)でも公表しています。

問合せ 環境課 ☎(48)0331・FAX(48)2226

今すぐできるエコライフ項目 ※()内の数字は、項目を実施することで1日に減らせる二酸化炭素の量と、節約できる金額の目安です。

お風呂の残り湯を洗濯に使った。(16g・1年で3,638円の節約)

冷蔵庫にもものを詰め込み過ぎなかった。(57g・1年で1,140円の節約)

照明は、省エネ型のLED照明を使用した。(120g・1年で2,401円の節約)

炊飯器は保温機能を使わなかった。(55g・1年で1,076円の節約)

テレビなど家電製品を使わないときは、主電源を切ったりコンセントからプラグを抜いた。(73g・1年で1,456円の節約)

出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。(299g・1年で3,365円の節約)

令和元年 南公民館 みどりのカーテンの実施録

ゴーヤ育て隊 報告 唐澤

4月26日、館長さんへ、ゴーヤ棚作りの了承を得た。

5月4日には、準備として、土づくりに(草取り・石灰・堆肥)を済ませ、苗は24株(中長レイシ12株・沖縄願寿12株)と鶏糞・アルミ針金・ビニタイ等を買求めた。2週間後の5月17日(土)9:00に集合して、倉庫に保管して有った、ネットや棚作り



苗の上にネットを張り詰めたところ

2週間に1回の肥料を撒いたので、1か月後には苗も60cmに伸び、花も咲き始めたので、枝を広げる為に摘芯をした。その1週間後には実を付け始め、6月の末から7月半ばには枝も2本とグングン伸びて7月17日には(15cm程の実が7本)今年、初めての収穫でした。

この頃には枝も広がり、日増しに丈も伸びて8月半ばには、4mを越え、2日おき事に、

竿等を運び出した。昨年の台風で横棒の重みで、2回も棚が崩れて大変だった事を考えて、今年は横棒を止めて、縦棒とネット全体を囲む形に針金で縫いつけて、棚の重みを減らした。棚の中心に角材2本を立てて針金の裾には12本の杭を打ち込み、杭に巻きつけた。



グングン伸びているゴーヤ

5・6本から、多い時は15・6本を収穫出来た日もあった。暑い日が続き、根元の土が乾き、朝晩の水撒きを遣るようになった。

9月の台風15号にも負けず、今年のゴーヤ棚は「緑のカーテン」としての役目も果たしながら8月25日～9月13日迄の20日間で125本の実を収穫する事が出来ました。

9月半ばに入り、ゴーヤの葉も黄色く成り、枝も疲れた様子でした。



緑のカーテンとなったゴーヤ



大きく育ったゴーヤ

9月27日9:00「ゴーヤそだて隊」全員集合で、約4カ月間「緑のカーテン」として働いてくれたゴーヤ棚の撤去作業を行いました。館長さん始め、職員の皆さん、後上さん、この4か月間、本当に、水遣りの他、沢山のご協力を頂きました。今年は「基金箱」への御協力も、ありがとうございました。

最後に、令和元年のゴーヤ収穫数は、総合計「245本」でした。

「浮きウキフェスタ 2019」が開催される

報告：久保田

2019年10月27日（日）、「浮きウキフェスタ 2019」が開催されました。2019年（平成31



心を込めて、最後の浮島



子供たちで作った浮島、完成！

年)は、和暦年号が平成から令和に代わった節目。昨年まで平成の年号で呼ばれてきた浮きウキフェスタの名称が令和に代わり、西暦の年号で呼ぶことに変更されました(昨年は「浮きウキフェスタ 30」、今年は「浮きウキフェスタ 2019」)。

さて、今回の浮きフェスタ、例年行われています「浮島づくり」は、3基作成のみ。ヤシの繊維で作る網袋、ロープなど「NPOとよあしはら」が、かつてスリランカから一括輸入した在庫が今年でなくなります。再度の輸入は、現地の製作会社などすでに無くなり、難しいとのこと。そのため、浮島づくりは今年が最後となりました。

最後の浮島づくりに応募してくれた人数は



栗橋東中学校吹奏楽部のマーチング



行幸湖の上で子供たち、浮島に乗って

60名、うち子供が8名。手慣れた様子でイカダを組み、アシの根を入れた炭袋を載せ、竹のレールを使って盛大な「進水式」を行いました。

今年のイベントの目玉は、栗橋東中学校吹奏楽部による「マーチング」披露。全国大会で毎年優秀な成績を上げるメンバーのパフォーマンスが、観客の喝采を浴びました。

本部発表による来場者数は、2,563名。来年(2010年)も浮きウキフェスタは続けられる予定ですが、浮島づくりに代わるイベント、どんなものを用意するかがこれからの課題です。

【会員募集中！】環境保全活動を一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。[さって市民環境ネット] ★問い合わせ先；久保田 修(代表)まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)